



ニュースリリース 平成 26年 9月 1日

『地域ヘルスケア産業支援ファンド』への出資について

常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、地域のヘルスケア産業事業者を支援するため、「地域ヘルスケア産業支援ファンド」へ出資しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、ヘルスケア産業の創出・拡大を目的として組成されるファンドです。株式会社地域経済活性化支援機構が100%出資するREVICキャピタル株式会社と株式会社AGSコンサルティングが共同で出資・運営し、ヘルスケア産業事業者に対し資金を供給するとともに、経営人材の派遣をおこないます。

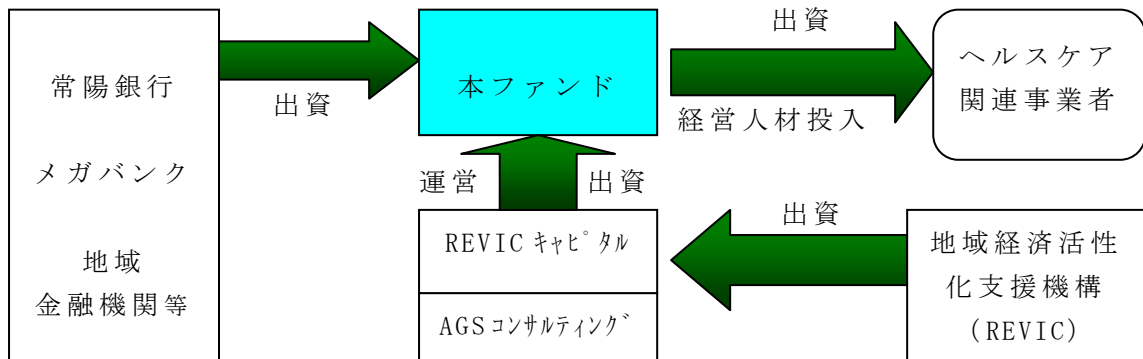
当行は、今後とも、ヘルスケア産業事業者に対しさまざまなサービスを提供し、地域経済の発展に貢献してまいります。

記

1. ファンド名	地域ヘルスケア産業支援ファンド投資事業有限責任組合
2. 組成日	平成26年9月1日(月)
3. 目的	ヘルスケア関連事業者に資金を供給するとともに、経営人材を派遣することで、地域経済の活性化、雇用の創出の支援を図る。
4. ファンド総額	100億円(当行出資額 3億円) 当ファンドは、26年9月に23.5億円で組成後、年内に最大100億円の追加出資を募る。
5. 運営事業者	REVICキャピタル 株式会社 (株式会社地域経済活性化支援機構の100%出資子会社) 株式会社 AGSコンサルティング

以上

【スキーム図】



【支援対象事業者】

1. 医療機関・介護事業者
2. 周辺事業者（医療機器、介護ロボット、医薬品、配食、フィットネスクラブ、見守りサービス、買い物代行など）
3. 上記の事業への新規参入を図る異業種事業者